

議 長	局 長	主幹・係長	係

## 粕屋町議会 視察研修報告書

下記（別紙）のとおり、視察研修に参加しましたので、その内容について報告いたします。

粕屋町議会議長 末 若 憲 治 様

令和8年2月20日

粕屋町議会  
議会広報常任委員会

（ 牟 田 口 直 輝 ）

### 報告事項

委員会名	議会広報常任委員会
日 時	① 令和8年2月6日 ②
視 察 先	① 添田町 ②
研 修 目 的 (テーマ)	① 議会広報紙の取組と体制について 広聴活動について ②
現状と課題	① 広報紙の編集に関して、時間がかかりすぎている。より効率的な方法などを考える必要性を感じる。 広報紙をより読みやすく、町民に読んでもらえるものにする必要もある。全戸配布しているので、議会広報紙を一人でも多くの人に読んでもらえるものにする。

	②
概 要	<p>① 添田町での広報紙の編集作業やマニュアルの活用について、広聴活動(住民と議会のカタリ場～未来会議～)の運営について。広報紙は、作業をマニュアル化することにより、編集方針、広報の目的や作業内容を明確にし、意識の統一と作業の標準化を図ったとのこと。今後、粕屋町の広報紙もマニュアル作成をすべきではないかと考える。</p> <p>広聴活動については年1回の開催であり、参加者の減少など課題があるとのこと。テーマについては漠然としたテーマでやっていたが、重点取組事項につながる意見が出にくいことから、令和7年より絞ったテーマ設定にしている。</p>
	②
質 疑 応 答	<p>① 広報紙の表紙について、2年前まで地域の飲食店や起業している店などを紹介していたが現在実施していないのはなぜか。</p> <p>2年ごとに委員が変わり、そのタイミングで変わった。議会の特性上、個を応援するように見えるのはよくないと考え、現在はやっていない。</p> <p>紙面について2色刷りにしている理由はなぜか。視察などで先進地に行き、2色刷りの方が読みやすいとのこと。</p>
	②

所 感	<p>① 広報紙について、 作成作業を効率化し、読みやすい広報紙にするために、広報紙作成マニュアルを粕屋町でも採用し、マニュアルの作成に取り組むことが必要。 編集方針・目的を定め、委員全員で共有し、住民の議会への関心と理解を高め、分かりやすい広報紙にする。 広聴活動について 参加者の減少など課題はあるが、SNS やチラシの配布など参加者を増やす努力をすべきと考える。</p>
	<p>②</p>